

令和8年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第一小学校長

令和8年4月23日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	60.9%					○
算数	56.4%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	66.8%					○
情報の扱い方に関する事項	52.3%					○
話すこと・聞くこと	65.8%		○			
書くこと	45.7%			○		
読むこと	65.9%					○

【考 察】

- 毎日の授業や家庭学習において、学習した漢字や言葉を積極的に使いながら文章を丁寧に書くことを続けたり、読書活動において語彙力の向上に努めたりすることで、漢字や言葉を正しく使う力が向上しました。
- 「話すこと・聞くこと」の領域では、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題が見られました。授業では、自分の考えをもつだけでなく、相手に伝わるように資料などを用いて表現する場を設けるように指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	61.1%					○
図 形	55.3%					○
測 定	78.1%				○	
変化と関係	41.1%	○				
データの活用	48.6%					○

【考 察】

- 「数と計算」の領域では、朝の「ステップタイム」の時間や単元末や学期末の「白一タイム」を活用し、繰り返し基礎的・基本的な学習に取り組んだことにより、計算力及び内容を理解する力が向上しました。
- 「変化と関係」の領域では、百分率で表された割合と比較量から、基準を求めることに課題が見られました。今後の授業において、図や式などを用いて基準量、比較量、割合の関係を読み取ったり、表したりすることができるような考察する活動を位置付けていきます。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第一小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	28.7	50.7	17.1	2.7
6	白一小	39.5	51.2	4.7	2.3

(単位 %)

【考 察】

- 学び合う時間を意図的に設け、自分の考えを広げたり、深めたりできるように努めています。その結果、約90%と多くの児童が自分の考えに自信をもって授業に臨んでいます。さらに、考えることに対して消極的な児童に支援をしたり、学び方の工夫をしたりできるように努めてまいります。
- 家庭学習の取り組みの際には、単元テストの結果や得意・不得意な内容などを自己分析する機会を設け、それらを基に自主学習を工夫させ、自己マネジメント力を高めていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	10.5	11.1	28.3	29.1	14.5	5.7
6	白一小	14.0	14.0	32.6	27.9	11.6	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 意欲的に取り組んでいる児童を称賛するとともに、工夫した自主学習ノートを紹介したり、ノートにコメントを書き、励ましたりするなどの取り組みを行った結果、学級全体の学習意欲を高めることができています。しかし自主学習の時間が少ない児童もいることから、自主学習への取り組み方の改善を図ってまいります。
- 「家庭学習・生活ノート」を活用し、自主学習を計画的に進めたり、ワークテストの結果をまとめて振り返ったりしていますが、今後は、中学校へ向けた家庭学習の習慣化と学習内容の充実について、自己マネジメント力の視点から指導をしていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	3 1. 4	4 7. 0	1 7. 2	3. 4
	白一小	4 4. 2	4 4. 2	9. 3	2. 3

(単位 %)

【考 察】

- 学習のつながりを意識した授業展開や、新たな考え方に気付くことができるような時間を設ける取り組みにより、約90%と多くの児童が学習がつながっていることを実感できています。今後は、さらに学習した内容を振り返り、自分の考えを修正し、よりよい考えに練り上げる力を高めていきます。
- 今後も、基礎基本の定着の場、活用及び習熟の場といった時間を設定し、「授業→家庭学習→白一タイム→ステップ→家庭学習」のサイクル化を通して、学習内容の定着及び活用力の育成を図っていきます。

4 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

		発表していた	どちらかといえば 発表していた	どちらかといえば 発表していなかった	発表していなかった	考えを発表する 機会はなかった
小 6	全 国	2 5. 8	4 0. 6	2 3. 4	8. 0	1. 7
	白一小	2 3. 3	4 6. 5	2 0. 9	9. 3	0. 0

(単位 %)

【考 察】

- 学級全体で話し合う際には、様々な考えを交流させながら、友だちに分かりやすく自分の考えを伝えることを意識させています。その結果、友だちに自分の考えを伝えることや、分からない部分や困っている部分を、お互いに補ったりすることが、できるようになってきています。今後も、自分の考えがうまく伝わるようタブレット端末を活用したり、資料をまとめたりして発表できるよう取り組んでまいります。
- 発表に対して消極的な児童もいるという結果から、今後も、周りの友だちと考えを共有し合い、互いの考えを認め合うことができる学級づくりと、授業改善に取り組んでまいります。